

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公表番号】特表2002-504993(P2002-504993A)

【公表日】平成14年2月12日(2002.2.12)

【出願番号】特願平10-549569

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 33/553

G 0 1 N 33/543

【F I】

G 0 1 N 33/553

G 0 1 N 33/543 5 4 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月11日(2005.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年5月11日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示 平成10年特許願第549569号

2. 補正をする者

名 称 アボット・ラボラトリーズ

3. 代 理 人 東京都新宿区新宿1丁目1番11号 友泉新宿御苑ビル
(郵便番号 160-0022) 電話 (03)3354-8623
(6200) 弁理士 川 口 義 雄



4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 なし

6. 補正対象書類名 請求の範囲

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。



[別 紙]

請 求 の 範 囲

1. 試料中の分析物の存在又は量の測定方法であって、
 - (1) 前記分析物が移動固相試薬及び磁気応答性試薬の両者と特異的に結合して前記移動固相試薬と前記磁気応答性試薬と前記分析物を含む複合体を形成することができるときに、前記試料を前記移動固相試薬及び前記磁気応答性試薬の両者と接触させて反応混合物を形成する段階と、
 - (2) 前記反応混合物中に前記複合体が存在する場合に前記複合体に磁力を加えるように前記反応混合物を磁場に暴露し、前記磁気応答性試薬単独又は前記移動固相試薬単独とは異なる速度での前記複合体の移動又は捕獲により前記磁力の作用を発現させる段階と、
 - (3) 前記発現の程度を測定し、前記試料中の前記分析物の存在又は量の尺度とする段階を含む前記方法。
2. 前記試料を前記移動固相試薬と前記磁気応答性試薬に順次接触させる請求項 1 に記載の方法。
3. 前記試料を前記移動固相試薬と前記磁気応答性試薬に同時に接触させる請求項 1 に記載の方法。
4. 前記磁場で前記結合した磁気応答性試薬の見掛重量変化を検出することにより発現の程度を測定する請求項 1 に記載の方法。
5. 視覚装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 1 に記載の方法。
6. 光学装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 1 に記載の方法。
7. 位置感知装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 1 に記載の方法。
8. 試料中の分析物の存在又は量の測定方法であって、
 - (1) 前記分析物が磁気応答性試薬と特異的に結合して前記分析物と前記磁気応答性試薬を含む第 1 の複合体を形成することができ且つ前記磁気応答性試薬が移動固相試薬と特異的に結合して前記磁気応答性試薬と前記移動固相試薬を含む第 2 の複合体を形成することができるときに、前記試料を前記磁気応答性試薬及び

前記移動固相試薬と接触させて反応混合物を形成する段階と、

(2) 前記複合体のいずれかが前記反応混合物中に存在する場合に前記複合体に磁力を加えるように前記反応混合物を磁場に暴露し、前記磁気応答性試薬単独又は前記移動固相試薬単独又は前記第1の複合体とは異なる速度での前記第2の複合体の移動又は捕獲により前記磁力の作用を発現させる段階と、

(3) 発現の程度を測定し、前記試料中の前記分析物の存在又は量の尺度とする段階を含む前記方法。

9. 前記試料を前記移動固相試薬と前記磁気応答性試薬に順次接触させる請求項8に記載の方法。

10. 前記試料を前記移動固相試薬と前記磁気応答性試薬に同時に接触させる請求項8に記載の方法。

11. 前記磁場で前記結合した磁気応答性試薬の見掛重量変化を検出することにより発現の程度を測定する請求項8に記載の方法。

12. 視覚装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項8に記載の方法。

13. 光学装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項8に記載の方法。

14. 位置感知装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項8に記載の方法。

15. 試料中の分析物の存在又は量の測定方法であって、

(1) 前記分析物が移動固相試薬と特異的に結合して前記分析物と前記移動固相試薬を含む第1の複合体を形成することができ且つ磁気応答性試薬が前記移動固相試薬と特異的に結合して前記磁気応答性試薬と前記移動固相試薬を含む第2の複合体を形成することができるときに、前記試料を前記磁気応答性試薬及び前記移動固相試薬と接触させて反応混合物を形成する段階と、

(2) 前記複合体のいずれかが前記反応混合物中に存在する場合に前記複合体に磁力を加えるように前記反応混合物を磁場に暴露し、前記磁気応答性試薬単独又は前記移動固相試薬単独又は前記第1の複合体とは異なる速度での前記第2の複合体の移動又は捕獲により前記磁力の作用を発現させる段階と、

(3) 発現の程度を測定し、前記試料中の前記分析物の存在又は量の尺度とする段階を含む前記方法。

16. 前記試料を前記移動固相試薬と前記磁気応答性試薬に順次接触させる請求

項 1 5 に記載の方法。

1 7 . 前記試料を前記移動固相試薬と前記磁気応答性試薬に同時に接触させる請求項 1 5 に記載の方法。

1 8 . 前記磁場で前記結合した磁気応答性試薬の見掛重量変化を検出することにより発現の程度を測定する請求項 1 5 に記載の方法。

1 9 . 視覚装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 1 5 に記載の方法。

2 0 . 光学装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 1 5 に記載の方法。

2 1 . 位置感知装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 1 5 に記載の方法。

2 2 . 試料中の分析物の存在又は量の測定方法であって、

(1) 前記分析物が少なくとも 2 種の異なる磁気応答性試薬と特異的に結合して前記分析物と前記少なくとも 2 種の異なる磁気応答性試薬を含む複合体を形成することができるときに、前記試料を前記少なくとも 2 種の異なる磁気応答性試薬と接触させて反応混合物を形成する段階と、

(2) 前記複合体に磁力を加えるように前記反応混合物を磁場に暴露し、前記異なる磁気応答性試薬単独とは異なる速度での前記複合体の移動又は捕獲により前記磁力の作用を発現させる段階と、

(3) 発現の程度を測定し、前記試料中の前記分析物の存在又は量の尺度とする段階を含む前記方法。

2 3 . 前記試料を前記磁気応答性試薬に順次接触させる請求項 2 2 に記載の方法。

2 4 . 前記試料を前記磁気応答性試薬に同時に接触させる請求項 2 2 に記載の方法。

2 5 . 前記磁場で前記結合した磁気応答性試薬の見掛重量変化を検出することにより発現の程度を測定する請求項 2 2 に記載の方法。

2 6 . 視覚装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 2 2 に記載の方法。

2 7 . 光学装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 2 2 に記載の方法。

2 8 . 位置感知装置を使用して前記発現の程度を測定する請求項 2 2 に記載の方法。

2 9 . 試料中の分析物の存在又は量の測定装置であって、

(a) 反応容器と、

(b) 前記反応容器の内容物に磁場を加えるための磁場発生器と、

(c) 試料中の分析物の存在又は量の尺度として、磁場発生器により発生される

磁場が反応容器の内容物に及ぼす効果を評価するための測定手段を含む前記装置。

30．前記測定手段が天秤である請求項19に記載の装置。

31．前記測定手段が複合体中の試薬から未結合試薬を磁気分離することにより複合体形成の程度を測定するための視覚装置である請求項19に記載の装置。

32．前記測定手段がホール効果トランスデューサーである請求項19に記載の装置。

33．前記測定手段が光センサーである請求項19に記載の装置。

34．前記測定手段が位置センサーである請求項19に記載の装置。

35．試料中の分析物の存在又は量の測定装置であって、

(a) 反応混合物を流すことが可能な少なくとも1個のチャンネルと、

(b) 前記反応混合物中の成分に磁場を加えるための磁場発生器と、

(c) 試料中の分析物の存在又は量の尺度として、磁場発生器により発生される磁場が反応混合物の成分に及ぼす効果を評価するための測定手段を含む前記装置。

36．前記測定手段が磁気応答性試薬と移動固相試薬の特異的結合による複合体形成の程度と未結合磁気応答性試薬の分離を測定するための視覚装置である請求項35に記載の装置。

37．前記少なくとも1個のチャンネルが壁を含み、前記壁が磁場をコード化した少なくとも1個の部位を含む請求項35に記載の装置。

38．前記磁場が特定特徴をもつ磁気応答性試薬の蓄積を優先的に生じるように特定勾配及び強度でコード化されている請求項37に記載の装置。

39．前記部位がウェブ又はテープを含む請求項37に記載の装置。

40．前記チャンネルが少なくとも2層のフィルムを接着することにより形成されている請求項35に記載の装置。

41．最上層に1個以上の開口を設けて試料の添加部位とした請求項40に記載の装置。

42．最下層に磁気ベースプレートに接着した請求項40に記載の装置。

43．前記チャンネルが光吸収性材料から製造した床をもつ請求項35に記載の装置。